

マングローブについて児童たちに教える
下地会長(左)＝南小図書館

まずゴミ投棄無くそう

環境クラブ
南小5年

マングローブ学習

宮古島環境クラブ(下地邦輝会長)は4日、市立南小学校5年生を対象にマングローブの授業を行った。昨年10月に与那覇湾サニツ浜で実施したマングローブの植樹を受けて行われたもので、下地会長らがマングローブに生息する動植物やその役割などを解説。児童たちにゴミの不法投棄防止に協力を求めた。

授業は午前9時半から同校図書館で行われ、5年生98人が参加。下地会長はマングローブの特徴について「元は陸の植物だが海水でも育つような特技を身につけた。世界には80〜100種類があり、中には高さ80になるものもある」

と説明。宮古島に自生するメヒルギ、オヒルギ、ヤエヤマヒルギ、ヒルギダマシの特徴を教えた。

マングローブにはカニや貝、魚など様々な生き物が住むことから「生物のゆりかご」と呼ばれている一方、埋立てやゴミの不法投棄など環境破壊も目立ち、下地会長は「ゴミを捨てているのは大人たち。エコアイランドなら自然エネルギーシステムも良いが、まずはゴミを無くすことが大切。皆さんから発信してほしい。大事なのは自然を理解すること。わかれば壊したりしない」と話した。

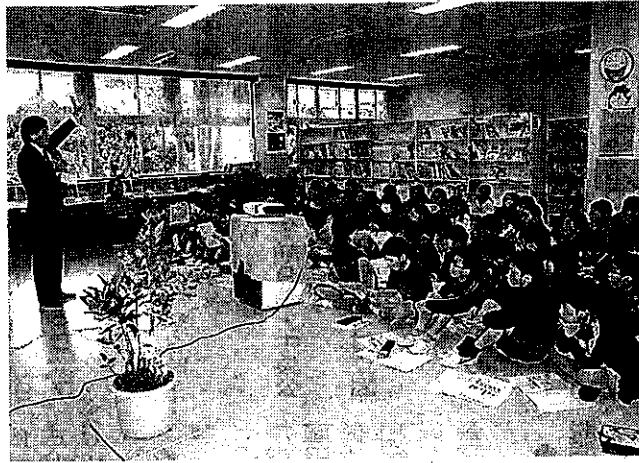
同クラブでは、日常的に環境学習ができる体制づくりに取り組んでおり、この授業は河川環境整備財団の助成を受けて実施した。マングローブの植樹、授業、観察をセットにしたプログラムを同校と平一小で行っている。

「世界には高さ60メートルの木も」

南小学校

下地さんがマングローブ講話

宮古島環境クラブの
下地邦輝会長が4日、
南小学校の5年生にマ



講話に興味津々だった子どもたち=4日、南小学校

ングローブの話をし
た。マングローブは、
海水と淡水の混じり合
う水域に生育する植物
の総称。世界には80
100種類のマング

ローブが育ち、中には
高さ60メートルの木があるこ
とを画像で見せると子
どもたちは、びっくり
の様子だった。
南小の5年生は昨年
10月、父母と一緒に与
那覇湾でマングローブ
を90本植えた。これに
次いで今回の授業と
なった。
宮古に育っているマ
ングローブは、オヒル
ギ、メヒルギ、ヤエヤマヒ
ルギ、ヒルギタマシの4
種類。下地さんは、ヒル
ギタマシの自然分布は
宮古が北限。この特徴的
な分布は、自慢しても

いいと話した。葉の裏
に塩を吹き出す不思議
な生態も紹介。「与那覇
湾に行ったらなめてみ
て」と促した。

ローブが開発やごみの
不法投棄によって、厳
しい生育環境に置かれ
ている状況も映像で示
した。
生徒の一人は「マン
グ

グローブは、どうやっ
と増えていくか」と質
問。下地さんは「胎生
種子という種から育
つ。この種子は人間の
赤ちゃんがへそで母親

と結び付いているよう
に、母木と結び付いて
いる」と答えた。植物
の中でも、胎生種子か
ら育つ木は、マング
ローブだけという。